

ふきのとう

真校祭 Innovation Festival

一人一人が
主役! ~ 革真的イノフェス ~ 大盛況の
一般公開!

10月28日(土)に真校祭が行われました。約100名の保護者・卒業生・地域の皆様からご来校いただき、学校祭を盛り上げていただきました。真室川校の伝統を守りながらも“革新的”な真校祭にするため、“革真的イノフェス”をテーマに掲げ、それぞれのクラス・部活動・授業・委員会が工夫を凝らした企画を考えました。準備には大変な労力と時間がかかりましたが、生徒たちは皆充実した時間を過ごすことができました。特に新企画「革真的イントロドン」は、参加した皆が楽しめる素晴らしい企画でした。また、PTAの皆様からは昨年度に引き続き、梅肉がポイントの大人気「真校手焼きそば」、同窓会の皆様からは、熱々の「手作り窯焼きピザ」が振る舞われ大好評でした。さらに今年度は、秋田県の翔北高校の「県境協力プロジェクト」に取り組む探究チームの皆さんも来校しPRを行いました。参加された皆様からも、「生徒たちに元気をもたらした。楽しかった」等の感想をいただき、真室川校の魅力を感じ取っていただくことができたのではないかと思います。



11月2日(木)真室川あさひ小の5年生との合同調理学習会を開催しました。この学習会は伝承野菜学習に取り組む両校が、地域交流活動の一環として行っているもので、今年で3回目になります。今年度も真室川校の学習活動の中で栽培した、勘次郎胡瓜、甚五右衛門芋、黒五葉豆を使って、生徒たちが考案したレシピにより調理を行いました。献立は、「ごはんと勘次郎胡瓜のしば漬け添え」「甚五右衛門芋のいも煮」「ニジマスの塩焼き」「黒五葉豆の豆腐入りドーナツ」です。どれも伝承野菜の素材を生かした素晴らしいできばえで、とても美味しかったです。小学生が高校生に質問する姿や高校生が優しく話しかける姿はとても微笑ましく、将来の地域を支える仲間としての交流も深まったのではないかと思います。当日は、NHK山形局から取材をしていただき、楽しく学び交流する様子を紹介していただきました。



フライパンに紙を敷いて、その上にニジマスの切り身を入れます！



真校生と町民の方が交流する 後期 地域きずな授業！ 21名の皆さんに参加いただきました



11月9日(木)後期「地域きずな授業」を行いました。これは、真室川校と地域住民の皆さんが交流を行うことで、生徒の郷土愛や他者を思いやる気持ちを育み、また、地域に対し真室川校の魅力を発信するとともに、地域の方の楽しみや生涯学習に資することを目的とした取り組みです。当日は、音楽、美術、書道、家庭科の4つの科目について、高校生と住民の方が一緒に授業を受け、互いに歌声や作品を褒め合うなど、有意義に交流することができました。参加者の皆さんからは、来年も是非実施してほしいとの有り難いお言葉をいただきました。



家庭科(簡単調理)



書道(年賀状書き)



音楽(みんなで歌おう)



美術(クリスマスカード)



地元企業の魅力体験ツアー

11月7日(火)に1・2年生が地元企業魅力体験ツアーに参加しました。これは地元企業の見学を通し地域産業について理解を深めるとともに、自らの進路について考える機会とするために、新庄商工会議所で企画していただいた体験ツアーです。当日は、3社(サンテックさん、観松館さん、ワールド企画さん)を見学させていただき、皆メモを取ったり、会社の方に質問したりしながら真剣に説明を聞きました。働くことや社会人として生きることなどのキャリア形成と、地域産業について学ぶ大変貴重な経験となりました。

